

# 第8回 蛍光イメージング・ミニシンポジウム

主催：北海道大学 電子科学研究所 共創研究支援部 ニコンイメージングセンター

共催：株式会社ニコンソリューションズ

新学術領域研究・学術研究支援基盤形成：先端バイオイメージング支援プラットフォーム (ABIS)

近年のノーベル化学賞が、2008年には蛍光タンパク質の開発と発展、2014年には超解像顕微鏡の開発、2017年がクライオ電子顕微鏡の開発に対して授与されましたように、医学・生物学研究においてイメージング技術の重要性は一層大きくなっております。当センターでは、蛍光イメージングに関する最先端の研究を紹介するミニシンポジウムを定期的で開催しており、本年はオンラインの場で開催する形となりました。北海道から遠方の方でも参加が可能となりますので、ぜひ多くの方がご聴講くだされば幸いです。

令和3年5月21日（金曜）13:00～16:45

ZOOMによるオンライン開催（先着300名）

13:00-13:08 開会の挨拶 北海道大学 電子科学研究所 教授 三上 秀治

13:08-13:48 招待講演1 順天堂大学 大学院医学研究科 教授 日置 寛之

「中枢神経系の神経ネットワーク構造解析」

13:48-14:28 利用者講演 北海道大学 大学院理学研究院 准教授 小谷 友也

「動物の受精と発生を支える翻訳制御 - mRNAとタンパク質, リボソームのイメージング」

14:28-14:40 休憩時間

14:40-15:50 協賛企業講演 アンドール・クロマテクノロジー・東海ヒット  
・ニコンソリューションズ・浜松ホトニクス・プロメガ・横河電機

15:50-16:00 休憩時間

16:00-16:40 招待講演2 慶応義塾大学 生命情報学科 准教授 堀田 耕司

「イメージングによる脊索動物ホヤの発生・進化研究」

16:40-16:45 閉会の挨拶

今回のオンラインセミナーの配信方法は、ZOOMを使用いたします。

ご参加を希望されます方は、「ご氏名・ご所属・メールアドレス」を、下記までご連絡くださいませ。

当日までに、接続先と参加パスワードをご連絡いたします。

お問い合わせ先：北海道大学 電子科学研究所 ニコンイメージングセンター 担当：小林

Tel.: 011-706-9442, Mail: nic@es.hokudai.ac.jp, Web: <http://nic.es.hokudai.ac.jp>

